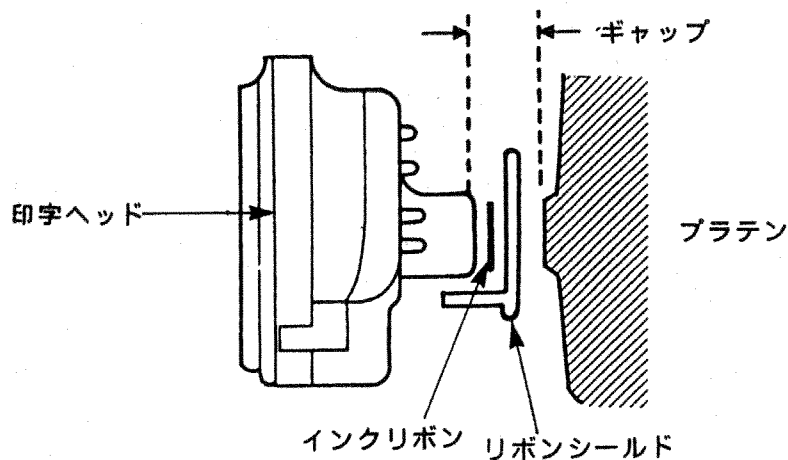


3.3 用紙厚の調整

最良の印字品質を得るために、用紙厚に応じて印字ヘッドとプラテン間の距離（ギャップ）を調整します。



用紙厚の調整には、以下の2つのモードがあります。

- 自動設定モード

自動設定では、使用する用紙の厚さに応じてプリンターが自動的に印字ヘッドとプラテン間の距離を設定します。

- 手動（用紙固定）設定モード

手動（用紙固定）設定では、操作パネルからの入力によって希望の値に用紙厚を固定します（ラベル紙、封筒など部分的に紙の厚みが異なるときに使用します）。

設定可能な範囲は、以下の7とおりです。

操作パネル・用紙厚設定値の表示

1	ジドウ		} 自動設定モード
2	カミアツ コテイ	—	
3	カミアツ コテイ	— —	} 手動（用紙固定）設定モード
4	カミアツ コテイ	— — ■	
5	カミアツ コテイ	— — ■ ■	
6	カミアツ コテイ	— — ■ ■ ■	
7	カミアツ コテイ	06	

手動（用紙固定）設定モードの場合には、以下の表を参照して設定してください。

用紙の連量 (kg) と用紙厚設定表示

用紙枚数	1枚目 (kg)	2枚目 (kg)	3枚目 (kg)	4枚目 (kg)	5枚目 (kg)	6枚目 (kg)	厚さ (mm)	用紙厚設定 値の表示
オリジナルのみ*	55	—	—	—	—	—	0.08	カミアツコテイ—
	70	—	—	—	—	—	0.10	カミアツコテイ—～—
	90	—	—	—	—	—	0.13	カミアツコテイ—
	110	—	—	—	—	—	0.16	カミアツコテイ—
	135	—	—	—	—	—	0.19	カミアツコテイ—～—
オリジナル+1	34	55	—	—	—	—	0.14	カミアツコテイ—～—
		70	—	—	—	—	0.16	カミアツコテイ—
		90	—	—	—	—	0.19	カミアツコテイ—～—
		110	—	—	—	—	0.22	カミアツコテイ—～—
オリジナル+2	34	34	34	—	—	—	0.18	カミアツコテイ—
			55	—	—	—	0.20	カミアツコテイ—
			70	—	—	—	0.22	カミアツコテイ—～—
オリジナル+3	34	34	34	34	—	—	0.24	カミアツコテイ—～—
オリジナル+4	34	34	34	34	34	—	0.30	カミアツコテイ—
オリジナル+5	34	34	34	34	34	34	0.36	カミアツコテイ06

連量：用紙の厚さの単位で四六判 (788mm × 1091mm) の用紙 1000 枚の重量のことです。

注:

1. * 印のオリジナルのみの用紙の場合、単票用紙では 40kg から、連続用紙では 45kg から使用できます。
2. 用紙厚設定値が上記最適値より大きい場合は、印字のかすれが生じ、印字ヘッドの寿命を短くします。

やむを得ず 0.36mm を超える用紙を使用する場合は、印刷不可状態で紙厚設定スイッチを押し、「カミアツ チョウセイ」と表示させた後、下段スイッチを押しながら紙厚設定スイッチを 2 秒以上押してください。

以下の 5 通りの設定が追加されます。

- 8 カミアツ コテイ 07
- 9 カミアツ コテイ 08
- 10 カミアツ コテイ 09
- 11 カミアツ コテイ 10
- 12 カミアツ コテイ 11

カミアツ コテイ 07～11 の範囲では、リボンよごれや用紙づまり等が発生しない程度でなるべく小さい設定値（数字）を選択してください。

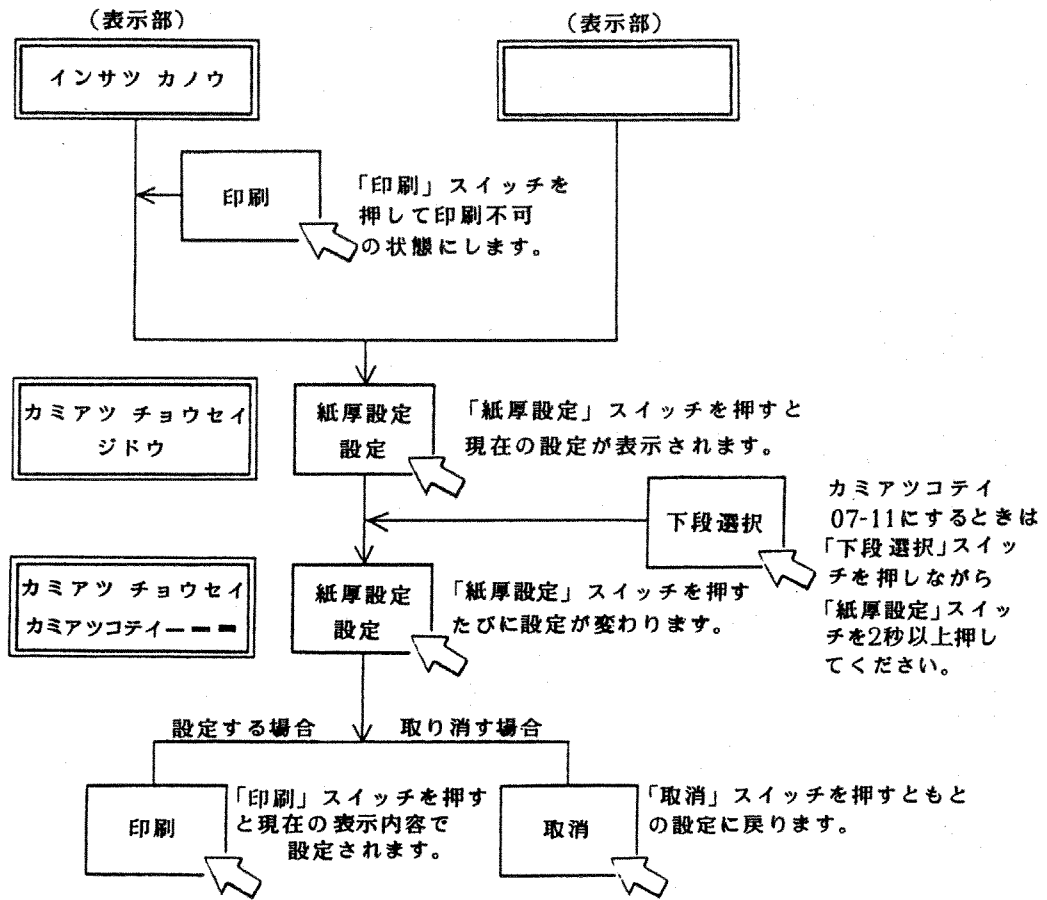
注:

1. 以上の設定は、電源を切ると取り消され、次に電源を入れたときには、初期設定値で記憶された設定値になります。
2. 自動設定の場合は、初期設定値の変更により「コク」、「フツウ」、「ウスク」のいずれかを選択することにより、複写紙等の印字濃度を微調整することができます。

4-1ページの4.1, 『初期設定機能』参照してください。

設定方法

紙厚設定の手順を以下に示します。



3.4 用紙モードの切り替え

連続紙モードから単票モードへ、単票モードから連続紙モードへ用紙モードを切り替える手順について説明します。

自動給紙機構を使用している場合は、3-36ページの3.7, 『自動給紙機構の操作』を参照してください。

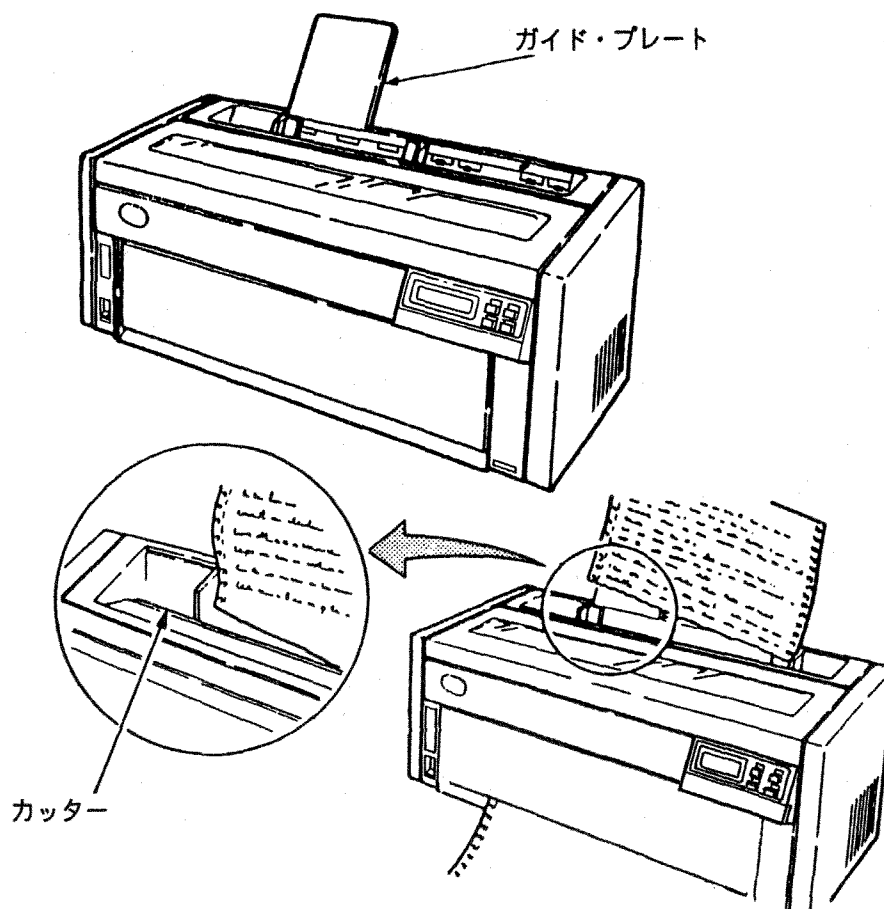
3.4.1 連続紙モードから単票モード

- 1 印刷不可状態になっている（印刷可ランプが消えている）ことを確かめてください。

排出/先頭行スイッチを押してください。

印刷済みの連続用紙が排出されますので、ミシン目で切り離してください。

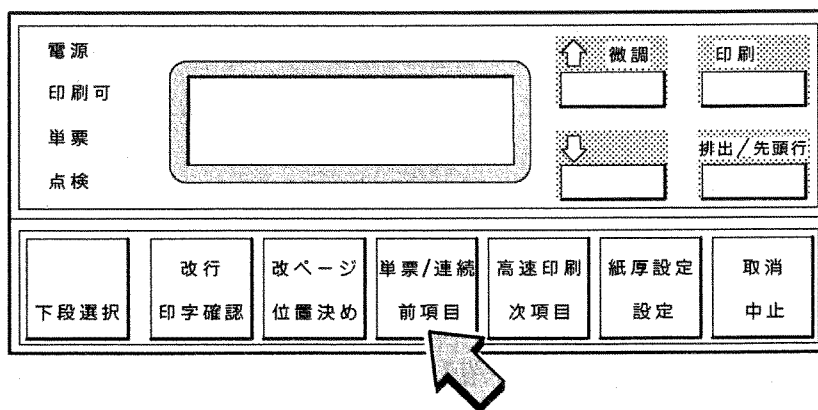
ガイド・プレートを取り付けてください。



- 2 操作パネル・カバーを開け、単票/連続スイッチを押してください。連続用紙がトラクターの位置まで逆送りされ単票ランプが付き、単票モードになります。

このとき、連続用紙をトラクターから取り外す必要はありません。

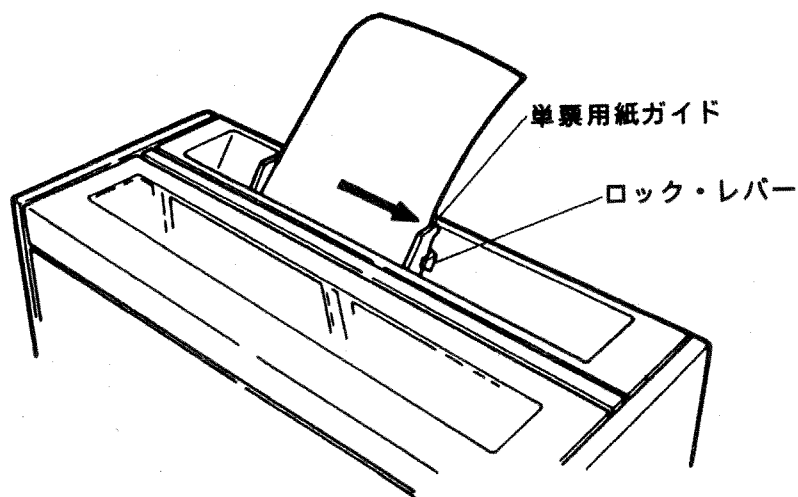
注: 連続用紙を取り外した場合、トラクターの用紙押さえを倒し固定レバーをロックしておかないと、用紙づまりを起すことがあります。



- 3 単票用紙ガイドを用紙ガイドのロック・レバーを握りながら用紙に合わせて調整し、用紙をセットしてください。

注: 両側の用紙ガイドと用紙のあいだにすき間 (1mm 程度) を開けてください。用紙厚調整が手動(用紙固定)設定モードになっているときは、用紙の厚さに応じて設定値を変更してください。

3-13ページの3.3, 『用紙厚の調整』を参照してください。



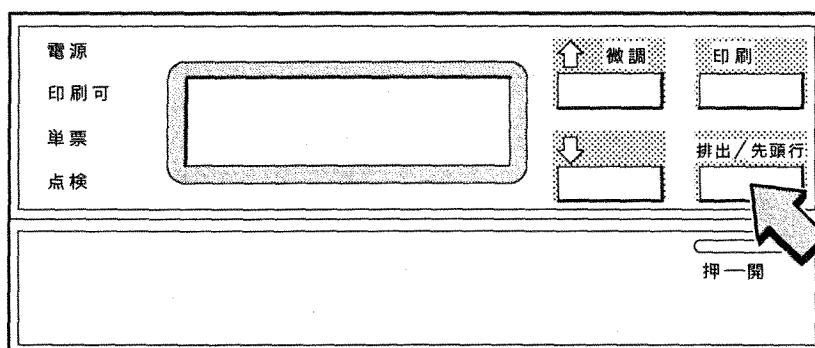
以上で連続紙モードから単票モードへの切り替えは終了です。
操作パネル・カバーを閉じて、使用してください。

3.4.2 単票モードから連続紙モード

注: 連続用紙を使用する場合はガイド・プレートを外してください。

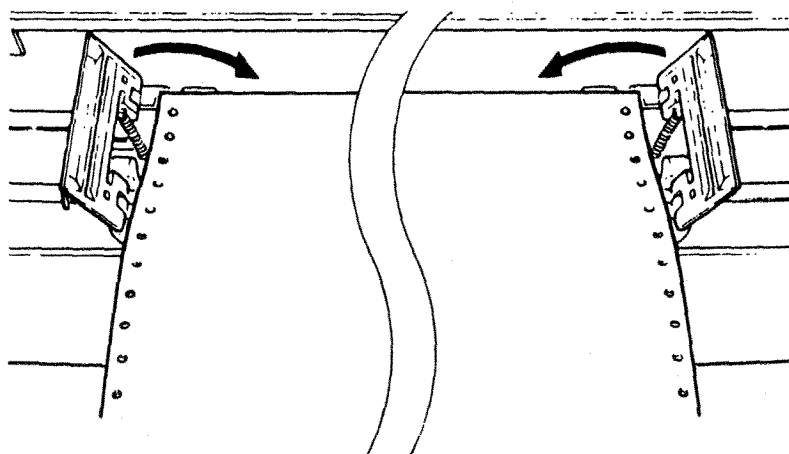
- 1 印刷不可状態（印刷可ランプが消えている）であることを確かめてください。単票用紙が吸入されている場合は排出/先頭行スイッチを押して排出してください。

また、用紙ガイド上にある単票用紙も取り除いてください。



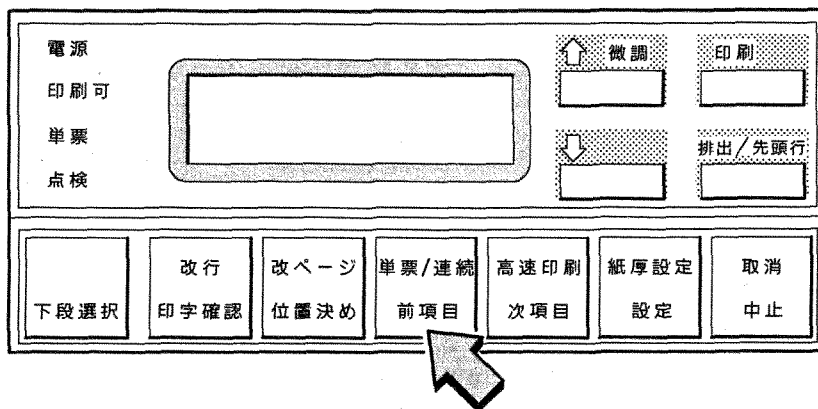
- 2 左右のトラクターを用紙に合わせて調整し、用紙をセットしてください。

注: 用紙厚調整が手動（用紙固定）設定モードになっているときは、用紙の厚さに応じて設定値を変更してください。（3-13ページの3.3, 『用紙厚の調整』参照）



- 3 操作パネル・カバーを開け、単票/連続スイッチを押してください。連続用紙が先頭行位置まで送られ単票ランプが消え、連続紙モードになります。上部の用紙ガイドを連続紙の幅に合わせてください。

注: 「ヨウシヲトリノゾイテクダサイ」と表示されている場合には、単票用紙ガイドの中の単票用紙を取り除いてください。



以上で用紙モードの切り替えは終了です。